



府中市立南白糸台小学校

# 幸が森だより

URL <http://www.fuchu19s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

令和6年1月31日

NO. 569

校長 西尾 克人

TEL 042-365-5381

FAX 042-334-0883

## ふるさと府中の魅力

副校長

インフルエンザが猛威を振るい、本校も学級閉鎖をいくつか行いました。まだまだ寒さが厳しく空気も乾燥する季節です。健康には十分ご留意いただきたいと思います。

3学期、6年生の家庭科の授業を受けもつことになり、卒業前の子供たちと授業をする幸運をいただきました。家庭科ではありますが、6年生の3学期は裁縫も調理実習もありません。子供たちと学ぶのは、「共に生きる地域での生活」「持続可能な社会を生きる」という単元です。府中市の魅力を確認し、地域の方々との関わりの中で自分には何ができるかを考える授業を1時間目に行いました。子供たちから出た府中市の魅力は以下の通りです。(順不同)

○ケヤキ並木○大國魂神社○くらやみ祭り○多摩川○競馬場○ラグビーの街○浅間山の自然○府中の森公園や郷土の森○どんど焼き○「ちはやふる」のモデル○郷土かるた○小松菜○大型商業施設○ビール工場○様々な文化施設○国府○府中囃子○ほたる○玉川兄弟○熊野神社古墳○南白糸台小学校(何人も出してくれていて、本当にうれしいことでした)○人が親切

魅力ある府中市を誇りに思い、守っていくために何ができるか子供たちからはたくさんの意見が出ました。「多摩川のゴミ拾いをする」「地域の方に挨拶をし、つながりを強めることで、一緒に地域を守る」「六中生成がどんど焼きの設営のボランティアをしていることを初めて知ったので、来年はやりたい」「くらやみ祭りに参加して、終わった後のゴミ拾いをしたい」等、自分にできることを真剣に考える姿が頼もしかったです。

私もどんど焼きを見させていただき、長きにわたって受け継がれてきたご苦労も聞かせていただきました。そのお話で「続ける」ことの大変さと「地域の力」を感じました。この地域の力に守られて育ってきた子供たちが、今度は自分たちで地域を守っていきたいと感じてくれています。

この授業を通して「自分たちのふるさとを守っていくために何をすべきかを考え、行動していきたい」「今お祭りが残っているのは、繋いでくれた人がいるからだ気付いた。これは当たり前のことではない。繋いでくれている人たちの思いを大事にしながら、今度はぼくたちが次につないでいく」とふるさとを大事にしていきたい思いを表現してくれた子供たちです。また「来年、小学校にボランティアにきます。副校長先生、待っていてください」と言ってくれる子もいました。育ってきた場所に感謝し巣立っていく子供たちに成長してくれました。この子供たちこそ「府中の魅力」であり、私たち大人が守るべきものだと感じております。

6年生が卒業の日を迎えるまで、あと1か月半です。6年生の姿を見ながら下級生も育てています。

